

# 書陵部紀要

第 4 号

---

## 目 次

- 郡 司 制 の 一 考 察 …………… 後 藤 四 郎…( 1 )  
——任用規定を中心として——
- 律令制官人構成についての序章 …………… 野 村 忠 夫…( 18 )  
——装演生案常忌寸秋庭の場合——
- 院 政 政 権 の 一 考 察 …………… 橋 本 義 彦…( 36 )
- 貞享度大嘗會の再興について …………… 武 部 敏 夫…( 54 )
- 正倉院密陀絵調査報告……………北村大通・山崎一雄・木村康一 …( 68 )  
上村六郎・亀田 孜
- 彙 報 (昭和27年1月—28年12月) …………… ( 86 )
- 正 倉 院 年 報 …………… ( 89 )

---

昭和29年3月

宮 内 廳 書 陵 部

第一号 目次 (昭和二十六年三月発行)

皇后中宮問題の解決	芝 葛 盛	(1)
昭和二十三年度正倉院楽器調査概報	芝 長 祐 三	(10)
図書寮本類聚名義抄出典索引	橋本不美男	(27)
書陵部官制の変遷		(51)
蔵書史と新収書解説		(55)
貴重図書の繙刻と出版		(60)
疎開から展示会へ		(62)
編修課事業概要		(69)
正倉院年報		(73)
~~~~~		
第二号 目次 (昭和二十七年三月発行)		
国忌の廃置について	中村 一郎	(1)
律令制官人社会構成の一考察	野村 忠 夫	(15)
—— 外位制の本質と機能を中心に ——		
昭和二十五年正倉院楽器調査概報	芝 祐 泰・長屋謙三 瀧 遼一・岸邊茂雄	(28)
図書関係事業概要		(54)

編修課事業概況

正倉院年報

附 録  
正倉院古裂銘文集成(一)

松島 順 正

第三号 目次 (昭和二十八年三月発行)

和歌・連歌・俳諧	伊地知 鐵 男	(1)
—— 宗祇・兼載の俳諧百韻その他を紹介して ——		
俳諧連歌抄の成立に及ぶ		
歌合変移の一モメント	橋本不美男	(18)
—— 康和期国信卿家歌合と俊頼と基俊と ——		
太政官厨家について	橋本 義 彦	(38)
廣橋守光日記について	菊地 康 明	(49)
樂翁公松平定信の黄集に係はる大般若經	大窪 太 朗	(56)
昭和二十七年正倉院楽器調査概報	芝 祐 泰・長屋謙三 瀧 遼一・岸邊茂雄	(74)
正倉院年報		(85)
附 録 正倉院古裂銘文集成(結)	松島 順 正	(18)

(58)

(59)

(1)

(1)

(18)

(38)

(49)

(56)

(74)

(85)

(18)